

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 加藤大豊

見つけよう 奉仕の新生面
Discover a New World of Service

No. 17

1984~85年度 RI 会長 カルロス・カンセコ

第111回例会 昭和59年10月23日 (火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 52名 出席 38名
出席率 73.08 %
前回 10月16日 (修正出席率) 100 %

make up

秋山君(10/18 東南), 深見君(10/13 守山), 橋本君(10/22 空港), 堀江君(10/20 守山), 黒野君(10/17 和合), 松藤君(10/9 富山南), 宮尾君(10/22 空港), 水野(民)君(10/15中), 成田君(10/19 港), 新美君(10/11 東南), 大口君(10/18 瑞穂), 佐野君(10/22 空港), 鈴木(正)君(10/12 港), 都築君(10/22 空港), 和田君(10/22 空港)

◇ビジター紹介 9名

◇ニコボックス

加藤(大)君(優良従業員の方の表彰者をお招きして), 新美君(奥様用の雑誌をお持ち帰り下さい, 又ホームクラブ御無沙汰しました), 谷口君(優良従業員表彰式に皆さんをお招きして), 小坂井君(弊社従業員2名が今回表彰をして頂きました), 加藤(敏)君(同上, 尚1人は未婚ですのでよろしく), 菊池君(優良従業員の表彰ありがとうございます), 成田君(鹿子木健日子先生に卓話を戴きましたので), 矢野君(中華民国の蔣介石前総統の孫に当たる蔣孝武氏(中華民国広播協会理事長)に名誉法学博士を贈呈しました), 竹中君(当院従業員2名お世話になります), 水野(民)君(従業員大爺を表彰して頂きありがとうございます), 和田君(先々週の夫人同伴家族会無事に終わりました。小坂井さんには和歌に和田を読んで頂きありがとうございました, 佐野君(誕生祝)

◇谷口幹事報告

1. 次週例会終了後, 理事会を行いますので

理事役員の方はお残り下さい。

2. 食べ歩き会第1回打合せ会を3F楓の間で行いますのでお集り下さい。
3. 当会員の杉山君が病気療養のため長期欠席されていますが, 来月より出席されますのでよろしくお願いいたします。
4. お手許の資料の中で, 国際奉仕委員会より海外クラブ姉妹提携一覧表が入っておりますが今後の参考としてご覧下さい。

◇加藤大豊会長挨拶

今年はずみの年です。ねずみの繁殖力の強さはみなさんご存知のとおりですが, 例えば一組のねずみ夫婦が最初に12匹の子供を生んだ場合, 1年を過ぎるとなんと億の数になるそうです。しかし, 年に増える実質数は数百匹との事です。それでもねずみ算式とはよくいったもので, たいへんな繁殖力です。

さて, 今年東京証券取引所のダウ平均株価が1万円を超えました。昭和24年5月16日, 176円21銭でスタートして以来, 実に34年8ヶ月で57倍になった計算になります。なぜ子の年の話をしたかと申しますと, ダウ平均1,000円台乗せしたのが昭和35年, また5,000円の大台を超えたのが昭和47年と, いずれも大台の節目を超えた年が子の年にあたります。偶然とはいえ, ダウには子の年のジンクスが生きていたといえるかも知れません。

先日ある週刊誌にダウ1万円を超えたことについて面白い記事がありました。昭和24年に10万円で買った松下電器株が35年を経て24億円になった計算になるそうです。実質値上がり率で見ますと, トップはトヨタ自動車の約4,000倍, 2位が富士通の約3,000倍, 3位松下, 4位鈴木自動車, 5位大日本印刷, 6位日産自動車と続きます。昭和26年トヨタ66円, 富士通83円, 松下128円, 鈴木38円,

大日本110円、日産65円、いまでは考えられないほど安かったのです。しかも上位に顔を出している会社のなかで目立つのが自動車メーカーです。いまでこそ日米自動車摩擦など大きくクローズされ、日本経済をリードする業界に育っていますが、アメリカの自動車メーカーに対抗することなど夢のまた夢であり、しかも当時各社とも労使が続発して、投資家の評価は決して高くなかったのです。第4位にランクされている鈴木自動車などは、大きく額面を割り込んでいました。こうして見てみますと投資対象として業種を選ぶ場合の将来性に対する情報がいかに大切であるか判かるとともに、一方では地道な積み重ねが成功の道へつながるということでもあります。

~~~~~職業奉仕賞授賞式~~~~~

10月の職業奉仕月間に因で、このたび会員の事業所より推薦された勤続10年以上の優良従業員14名が職業奉仕賞を受賞されました。今後の増々のご活躍を期待します。

(職業奉仕委員会)



例会出席の授賞者

上段左より内山照子さん、大爺美代さん、  
藤原須磨子さん  
下段左より小八木安治さん、山内仁志さん

◆講演

“無駄の効用”

㈱茜 代表取締役会長 鹿子木 健日子氏



(紹介 成田君)  
さて、今日スポーツが盛んですが、それでも子供がスポーツに熱中すると、「無駄なことばかりしておって、ちっとは勉強せんかい」と愚痴る親もおるようです。私も14、5才の少年

時代からスポーツに熱中し、特にバスケットボール界から引退したつい最近までが、他人様から見れば或る意味では無駄な人生ということになります。

私のバスケット人生の中で最も華やかな時と申せば東京帝国大学時代でありました。試合にのぞめば負け知らずだったし、国際試合があれば必ず日本代表に選ばれ、大学生生活3年では間に合わず1年留年ということになりました。

ところで戦争に負けて日本中が貧乏になった時代は、スポーツもOBの援助でどうにかやっていた頃もあります。

高度経済成長時代に入るともはやOBの資金援助など必要としなくなり、ある意味で寂しいことです。

それはそれにして高校・大学で一流といわれるプレーヤーは、大体において企業に吸収されると組織の歯車としてうまく回転しているようです。中でも運動部のマネージャーをつとめてきた人は、心配りその他で苦労も多い、それこそ縁の下力持ちで、或る見方からすれば全くの無駄の一時期過ぎたとも言えますが、いざ社会に出てみると、夫々の分野において長となる者が多いようです。

いずれにしても、スポーツはそれに打ちこむことによって、気力、体力のギリギリの限界でお互いの腹をさげ出せあえる友達ができ、又試合では烈しい斗志をぶつけあったライバルの連中とも、時がたつにつれ金銭ぬきの純粋な友情が芽生えてまいります。

そういう仲間を身の廻りに数多く持つということが、スポーツの無駄の効用であり、人生を豊かにする糧ではないかと思う次第であります。

11月1日より  
ドル、円換算レート 245円  
になります。

◆次回例会(10月30日)

講演 “ストレッチング健康法”

中京大学教授 小林 義雄氏 (紹介 大谷君)

◆次々回例会(11月6日)

講演 “プロ野球裏話し”

中日ドラゴンズ球団総務(前スカウト部長)

大越 貫司氏 (紹介 谷口君)